

楽しかったよ

うんどうかい

9月定例会

- P2~6 前年度決算審査など
- P7 小学校6年生議会見学 / 第2回議会モニター会議
- P8 行財政調査特別委員会視察報告
- P9 常任委員会調査報告
- P10~15 一般質問 5人の議員 村政を問う
- P16~17 村民インタビュー
日吉津村
地域資源保全会の皆さん



議会ひえづが
ご覧になれます

補正予算に計上

可決

補正予算

● 一般会計 (第2回)	57,532千円	増
● 国民健康保険事業特別会計 (第2回)	283千円	増
● 後期高齢者医療特別会計 (第1回)	271千円	増
● 下水道事業会計 (第1回)	(資本的収入) 1,686千円	増
	(資本的支出) 319千円	増

第3回
定例会

● 一般会計補正予算の主なもの

地方公共団体情報
システムの標準化事業

26,168千円

国が策定する基準に適合した情報システムへ、令和7年度末までに移行するため。



質疑

問

委託料の金額は適正か。

答

村が委託している事業者と異なる事業者とも比較しながら進めており、適正と考える。

児童手当給付事務事業

7,650千円

子育て家庭の生活安定や児童の健やかな成長のため、今年10月から児童手当を拡充する国の制度改正に伴うもの。

質疑

問

給付方法など詳しく教えてほしい。

答

- ・所得制限の撤廃
- ・高校生年代まで期間延長
- ・第3子以降3万円とする
- ・支払月を年3回から6回へ

予防接種事業

5,956千円

乳幼児、児童、高齢者に対し、疾病の発生およびまん延を防止するため各種の予防接種を実施する。

質疑

問

予防接種健康被害救済給付金の財源は何か。

答

全額国費である。



9月定例会は、9月3日から18日間の日程で開催され、条例の一部改正2件、補正予算4件、令和5年度決算4件、人事案件8件、協議2件、陳情1件、請願1件を審議しました。21件を可決・認定・同意し、請願1件は不採択としました。

10月から

児童手当拡充

議案第25号

《村の行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正》

法の一部改正に伴い、用語の定義の追加、引用する規定の改正等を行うもの。

議案第26号

《国民健康保険条例の一部改正》

従来、保険税の滞納者には被保険者証の返かんを求めていたが、12月から被保険者証が廃止されることに伴い、条例の一部を改正するもの。



同意第1号

《村教育委員会委員の任命について》

音田純子氏を選任することについて、議会の同意を求めるもの。

同意第2号～第8号

《村温泉審議会委員の委嘱について》

次の方に委員を委嘱することについて、議会の同意を求めるもの。(敬称略)

- 吉崎 勇
- 石西 宏
- 齋河 泰二
- 中井 健夫
- 林原 美代子
- 渡邊 均
- 仲田 雅彦

議案第31号

《米子市と村とのし尿及び浄化槽に係る汚泥の処理に関する事務の委託に関する規約を定める協議について》

広域で処理をしているし尿・汚泥について、経済的・効率的であることから米子市の下水道に統合し処理するため「事務を委託する規約」を定めるもの。

議案第32号

《後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について》

現行の被保険者証が新規発行されなくなることに伴い、広域連合規約における被保険者証に関連する必要の改正を行うもの。

● 賛否の分かれた議案 (賛成：○ 反対：×)

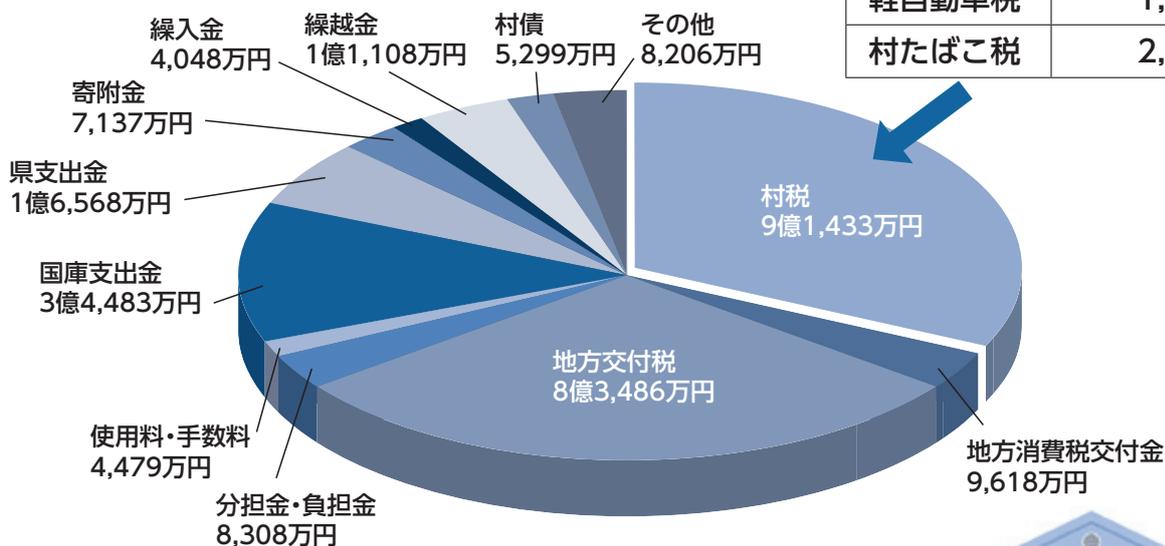
議案番号	件名	議決結果	齊田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第29号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長は賛否表明しない
認定第1号	令和5年度日吉津村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	令和5年度日吉津村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	

※その他は全会一致で可決・承認・同意・認定されました

しすべて可決・認定

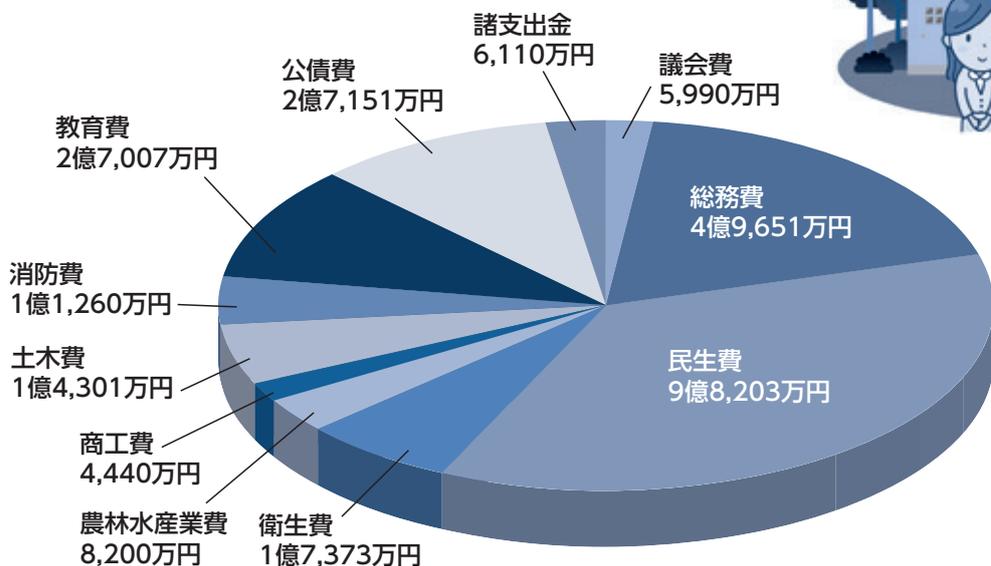
一般会計

【歳入合計額 28億4,169万円】



村民税	2億4,388万円
固定資産税	6億2,957万円
軽自動車税	1,484万円
村たばこ税	2,605万円

【歳出合計額 26億9,686万円】



【歳入歳出差引額 1億4,483万円】

(次年度繰り越し)

特別会計

	歳入	歳出
国民健康保険事業	3億3,760万円	3,362万円
後期高齢者医療	5,493万円	5,475万円

	収入	支出
収益的収支	1億5,595万円	1億4,611万円
資本的収支	561万円	5,060万円

令和5年度 **決算**

4 会計を審査

実施された主な事業

防災行政無線の機能強化

9,592万円

防災行政無線機器を更新し、スマホアプリの利用により、情報伝達手段の多重化を図った。



小学校の大規模改造

3,194万円

小学校全棟の照明器具をLEDに改修し、学習環境の充実を図った。



ひえづ元気回復商品券事業

2,998万円

物価高騰のなか村民の生活支援を商品券で行い、事業者への経済支援にもつながった。



電力・ガス・食料品等価格高騰のための支援給付金

2,775万円

物価高騰の負担増の軽減。特に家計への影響が大きい世帯に給付金を支給した。



人材育成交流事業

798万円

小学生沖縄民泊研修、中学生オーストラリア語学研修を行った。



道路の維持

4,107万円

道路の修繕を行い、安全性の確保を図った。



討 論

令和5年度 一般会計歳入歳出 決算の認定について

認定
第1号

認定

反対討論
江田加代 議員

男女共同参画計画など重要施策で未実施が目立ち、賛成できかねる

賛成討論
石原浩明 議員

遅れている施策はあるが、付帯意見で指摘しており、賛成すべき

令和5年度後期高齢者 医療特別会計歳入歳出 決算の認定について

認定
第3号

認定

反対討論
江田加代 議員

75歳以上をまとめて扱う、この制度は問題があり、反対である

賛成討論
齊田光門 議員

高齢者医療を社会全体で支える観点に立ち、なおかつ世代間の負担の明確化を図るもので賛成である

決算審査特別委員会の意見 (一部要約)

審査の過程で出た意見を、令和7年度予算編成に反映するよう村執行部へ提出しました。

【総務課】

・消防団のなり手不足対策として、ちびっこ消防団の新設等、取り組みを強められたい。

【総合政策課】

・ひえづ113chの制作の複数化など、安定した放送の維持管理体制を確立されたい。
・村報に、村民の声を取り上げるスペースを。
・本村ホームページを充実させ、予算書や各種審議会の議事録など速やかにアップされたい。

【建設産業課】

・海浜運動公園芝生広場から海岸までの松木の除伐・間伐を。

・チューリップの村存続のためにも、今後は行政主導で取り組まれたい。

【福祉保健課】

・認知症の方の増加に対して、適切な対応を。
・「まちの保健室」事業を再開されたい。

・児童館に正規職員を配置されたい。

【住民課】

・男女共同参画計画の見直しで長年放置されている。早急に対応を。

・環境審議会が開催されていない。早急に取り組みの強化を。

【教育委員会】

・スポーツ少年団指導者の処遇改善を。
・学校給食は、食材の高騰に対応し援助されたい。

・人権・同和教育の学習機会についての告知を。

・図書館の振興と村内の各図書館との連携のために、正規職員の配置を。

請願1件・陳情1件を審査しました

6月議会以降、村議会へ請願1件、陳情2件が提出されました。ただし、そのうち1件（陳情）は、議案とすることはなく、議員への情報提供（供覧）にとどめました。

議案となった請願1件、陳情1件は、いずれも「教育民生常任委員会」に審査が付託され、その委員会の結果報告を受けて、本会議にて討論・採決を行いました。

【教育民生常任委員会付託案件（2件）】

請願第1号 健康保険証の廃止をしないよう求める請願書

【請願者】 米子民主商工会 会長 植田 均
 米子医療生活協同組合 理事長 梶野 大
 【紹介議員】 江田加代 議員

委員長報告

不採択

(採択1・主旨採択1・
不採択2)

反対討論

江田加代 議員

マイナンバーカードは強制的で、保険証廃止は非常に問題だ。

賛成討論

長谷川康弘 議員

マイナ保険証は、医療機関との連携などメリットも多い。請願には賛成しかねる。

本会議結果

不採択

(賛成少数)

陳情第6号

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について

【陳情者】 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 先灘文広
 鳥取県教職員組合西部支部 支部長 内田浩文

委員長報告

採択

(全会一致)

討論なし

本会議結果

採択

(全会一致)

* 討論における反対・賛成は、委員長報告に対するもの、採決は陳情の原案に対し採択○、不採択×とするものです。

請願番号	件名	齊田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第1号	健康保険証の廃止をしないよう求める請願書	×	×	○	×	×	×	×	×	×	*

陳情番号	件名	齊田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第6号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

* 議長は、賛否の表明は行いません

小学校6年生が、議会見学（9月4日）

私たちのことを考えてくれて、うれしかった

小学校6年生43名が社会科授業として、9月定例議会の一般質問を（2クラス交代で20分程度）傍聴しました。通学路など、小学校に関連する質疑もあり、真剣に傍聴する姿が見受けられました。傍聴後の子どもたち一人ひとりの感想から、一部を紹介します。



【小学生の感想から】

- いつも通っている道のことを話していて、とても気になりました。
- 子どものことを考えてくれていてうれしかった。
- 議会はピリピリして真剣にしていました。
- 発言に制限時間があることに驚いた。
- 質問する人の熱意がすごい。正確に質問に答えていた。
- 村議会があることで、村が成り立っていることをあらためて感じた。

第2回議会モニター会議（8月10日）

議会報や日曜議会に、活発なご意見

議会「ひえづ」8月号について

- 2～3Pのタイトルは、「県内初・日曜議会を開催」であったが、実際の記事内容（条例改正と補正予算）とはズレており、内容も難しかった。
- 見てもらうためには、レイアウトも含めて、専門的な人に任せてみては。
- 若い世代に興味を持ってもらうにはSNSを活用して情報提供を（村のホームページは、ほとんど見ない）。

日曜議会（6月9日）について

- 議会や村政への興味を持ってもらう仕かけとして有意義だった。
- 傍聴席が窮屈、エレベータもない、マスコミのカメラが傍聴席の入口に配置され入りにくかった。
- オンラインで、別会場で視聴できれば。
- 一般質問の要旨や該当箇所など、モニターで表示され、資料配布されると分かりやすい。

村の施策、議会運営について

- 一般質問では、内容を数値化して質問してほしい。
- 日吉津村は子育てしやすい村として評価されているので、それに関わる情報をうまく提供すれば、議会や村政に対する関心が高まるのではないか。
- 村民が関心をもって参画する村になれば、日吉津村の評価はもっとあがる。
- 行政懇談会、日曜議会など、小さな自治体だからできる取り組みでとても良い。

行財政調査特別委員会 7月10日～12日

北海道南幌町の室内遊戯施設などを視察

視察① 期待の王子新事業／王子ホールディングス(株)研究所



●主な調査内容と考察

木質由来のエタノールなどを生産し、航空機燃料などとして利用しようという試験プラントが、王子製紙米子工場^{しのめ}で始められることとなった。その調査のため、東京都江東区にある東雲イノベーション推進本部(研究所)を訪問した。

●化石燃料に頼らぬ燃料生産は、地球温暖化の抑制にも貢献する期待の事業である。試験後の本格稼働も、米子工場に導入されることを要請した。

視察② 北海道南幌町／子ども室内遊戯施設「はれっぱ」等

●主な調査内容と考察

札幌市から車で45分の南幌町は、人口7,889人、面積81.38km²。豊かな田園が広がるベッドタウン。町立中央公園内に、昨年5月、公民連携方式(PPP)により、室内遊戯施設「はれっぱ」を整備した(延べ約1,000m²、事業費9億2,253万円。財源の1/2は国の「地方創生拠点整備交付金」を充当)。

開業1年目の入館者数は約21万人(町内利用者10%、町外90%)で、利用料金は町内の子ども100円、町外300円。0歳児と高校生以上の付き添いは無料。

●厳寒の冬や猛暑の夏にも楽しめる遊戯施設として、利用者にはうれしい施設であるが、莫大な財源が^{つぎ}ぎ込まれている。本村の海浜運動公園においても屋内遊戯場が検討されつつあるが、南幌町も参考にしつつも、身の丈にあった計画とされたい。



視察③ 北海道栗山町議会／先進的な議会改革



●主な調査内容と考察

栗山町は、全国で初めて「議会基本条例」を制定するなど、数々の議会改革で注目されている。議会の政策づくりに助言をいただく「議会サポーター」、議員のなり手不足解消のための「議員の学校」開催など多岐にわたり実践されている。また議会の会期を設けず「通年議会」とし、議員から執行部への「文書質問」も認められている。

●今後の本村の議会改革のために、参考としていきたい。

村内の調査報告

総務経済常任委員会 8月26日

調査項目 今後の村の活性化とシティプロモーションについて



●主な調査内容と考察

村の活性化のため、移住定住の促進は主要課題である。その解決策として、「シティプロモーション」に取り組まれつつある。その現状について、村担当課へヒアリングを行った。

ふるさと納税の返礼品など特産品の開発や、SNSなどを活用した情報発信を強化するため、(株)ローカルファースト研究所への委託契約が締結され、9月より「地方創生支援マネージャー」を役場スタッフに迎えて、取り組まれている。村外から迎えたマネージャーの手腕に期待する。

教育民生常任委員会 8月1日

調査項目 河川敷運動公園及び各自治会のゴミステーション



●主な調査内容と考察

ゴミ問題は、村の重要課題である。河川敷運動公園と各自治会のゴミステーションの状況を調査した。

河川敷運動公園は、国交省をはじめ関係団体による一斉清掃の直後であり、いつものようにゴミのポイ捨ては見当たらなかった。ただし、周辺の草は伸びていたので、定期的な草刈りが必要である。

各自治会のゴミ出しの状況を見て回った。指定場所に整理して出されており、資源ゴミを扱うリサイクルハウスは、自治会ごとの対応は様々であるが、どこも整理され、きれいに集積されていた。役員の奉仕によるところが大きいだろうと感じた。



村政を問う

5人の議員が質問しました。



9月4日(水)

議員	ページ	質問事項
まつだ 松田 悦郎	11	1. 小学校玄関での待機時間と「小1の壁」は 2. 下口地区児童の通学路整備を 3. 児童の夏対応は
いしはら 石原 浩明	12	1. コミュニティ活動支援について 2. 富吉北地区の交通安全対策を
さいた 齊田 光門	13	1. 副村長に適任者の選任を 2. 防災対策はできているか
まえた 前田 のぼる 昇	14	1. 海浜エリア活性化のすすめ方 2. 本村のシティプロモーションは
えだ 江田 かよ 加代	15	1. 人材育成交流事業の見直しを 2. 高額なコロナ治療薬の補助制度を 3. 自衛官募集の名簿提供は止めよ

【解説】一般質問

定例議会(年4回)において、議員の意思によって、村政に関する質疑を行います。本村の場合、一人当たりの時間を(村執行部の答弁時間も含め)最大80分と決めています。事前に質問表を提出し、執行部はそれへの答弁を用意して臨みます。通常の議案と異なり、原則どんな内容でも質問することができますので、議員にとっては、自らの政策や提案に対する村長の見解を求めるための貴重な機会です。



松田悦郎 議員

小学校玄関での待機時間と「小1の壁」は

教育長 登下校の安全を指導したい



▲役場横の通路の舗装を

Q 朝、児童は小学校玄関の開錠まで外で待機している。子ども園に預ける時間帯と小学校の開錠時間とへだたりがあり、保護者の仕事に大きく影響を与えている。

A 教育長 小学校の開錠時間は7時45分であり、この「小1の壁」は、社会問題になっているのが考えを伺う。 児童や保護者の皆さんにはその時間に合わせ登校するようお知らせしている。 天候の状況から判断して早めに来た教員がそれ以前に開錠することもある。 今後は、登校時間を含め登下校の安全について指導していきたい。「小1の壁」については、今後勉強していきたい。

下口地区児童の通学路整備を
村長 今後も適切な維持管理に努めたい

Q 現在、旧国道内が一番危ない通学路である。役場と小学校グラウンドの間を登校している通路は、安心できる場所である。

A 村長 しかし、雨天時は歩きにくく、靴は水だらけになるなど通学路には不適切であり、舗装を考えていただきたい。

A 通学路の基本的な考えは、役場前の県道を登校するよう設定されている。 役場と小学校の間の通路は役場敷地の一部であり、車の往来がなく、最も安全な通路である。 村道ではなく現時点では舗装できないが、今後も適切な維持管理



▲水辺の楽校での体験学習を

に努めていきたい。

児童の夏対応は
教育長 今後も日野川探検など体験活動をしていきたい

Q 暑く、長い夏休みに児童が楽しめるプールなどの使用ができない、川遊びもできない、海は遊泳禁止である。夏場の対応策を示せ。

A 教育長 プールの一般開放は、PTAとも協議の上、文科省の指導をふまえ困難である。 夏休みには、ひえづっこクラブや児童館の活動として、水辺の生き物探し、日野川探検、カルチャー土曜塾など体験活動を企画している。今後も色々な活動をしていきたい。



石原浩明 議員

コミュニティ活動支援について 村長 様々な活動に活用いただきたい

Q 村民団体が自
主的に取り組む
活動を支援する「日吉
津村チャレンジサポー
ト地域事業補助金」が、
今年度設けられた。積
極的に進めるべきと考

えるが、詳しい内容や
周知の方法について伺
う。

A 村長

昨年まで、自
治会を中心として活用
していたが、

より広く、活用してい
ただけるように設けた。
子ども食堂（地域食
堂）や空き家を活用し

た地域交流の場づくり
などにも活用いただけ
ると考えている。
すでに、自治会で、
世代間交流を深めてい
こうという取り組みに
交付決定した。

4月・6月の自治
連合会での説明の他、
ホームページ、村報9
月号などで広報した。
今後各自治会の支援
スタッフなども通じて
周知を図りたい。

富吉北地区の
交通安全対策を
村長 今後の状況を
注視する

Q 富吉北地区に
ホームセンター
などが建設中である。
1号線沿いに、車両出
入り口が、4つ作られ
る。交通安全対策と交
通渋滞対策はどう考え
ているか。また交通量
や車の流れの予測は。

A 村長

村道1号線、
2号線、ホレコ川右岸
農道は、片側歩道の幅
員9mに拡張される。

事業者の届け出資料
では、休日の日吉津西
交差点（富吉線と国道



▲村道1号線の交差点

431号の交差点）で、
北側から米子方面への
右折車両が、やや基準
を超えるとなっている。
これに対して村から、
県に対策を求めている。
事業者からは、「開
店後の現状を判断し、
必要な対策を実施す
る」と県を通じて回答
があった。村としても
今後の状況を注視して
いく。

村道1号線について、
交通量や、交通の流れ
は算定していない。し
かし、村道1号線から
日野川土手方面に車が
分散すると、流れはス
ムーズになるのではな
いかと考えている。

事業者の届け出資料
では、休日の日吉津西
交差点（富吉線と国道

▲みんなの居場所、ポテト食堂

▲村道1号線の交差点



齊田光門 議員

副村長に適任者の選任を

村長 組織全体を考え、必要性を検討する



▲副村長によるリードが必要

Q

副村長は行政経験者で日吉津村在住、村民に対し対応可能な人物を。職員の執務環境を整え、村長とのパイプ役・各課の連携も可能となる。現在の旧うなばら荘や新規の道路網整備など、問題の打開策として必要不可欠なポストと考える。

A

副村長の人物像は現時点では答えら

村長

れないが、総合的な能力が必要。住民の福祉サービスの向上を目指し、急激な変化をする社会に対応していく必要性をふまえ、副村長の設置を検討する。職員の組織編成・執務環境について、各課の業務量調査を行った。職位ごとの区割りや能力を確認し、人材育成の基本方針も改正する。現在、職員の検討チームにおいて、働きやすく効率の良い組織

体制を検討している。職員一人一人の能力がより発揮できるように改善をはかる。

防災対策は

できているか

村長 消防団の技術強化・防災士の育成

Q

①防災の基本的考えについて
②今年の防災訓練のテーマは

A

村長

③災害時の対応・応急対策・復旧対策は
④村の防災計画の検証・見直し状況は
⑤各自治会の避難対策の紹介を

①防災と減災に向けて災害対策本部の確認と訓練を行う。各自治会では自主防災組織が活動し、緊急避難場所を決め、避難訓練を行う。防災備品の購入管理につとめる。
②今年津波を想定し、村の災害対策本部の初



▲海川自治会の防災訓練（炊き出し）

動対応などの訓練をする。各自治会の避難場所または公民館からトレンセンへの避難経路の安全確認をする。
③村の災害対策本部を設置、被害状況の把握をして被害の拡大防止の担当を定める。被害状況を確認しながら避難所を開設する。
被害状況を確認して各関係機関とインフラの復旧をはかる。
④令和4年3月に村の地域防災計画の見直し

⑤全ての自治会において自主防災組織を立ちあげ活動されている。どこでもグループごとに集会所で安否確認をし、状況に応じ避難所に移動される。各自治会で色々と工夫されている。村としてもしっかりとサポートする。



前田 昇 議員

海浜エリア活性化のすすめ方 村長 公園の魅力化について 官民協働をめざす

Q 昨年のコンサルの報告書について、村民による活性化計画検討委員会へ説

A 明会の際、検討委員の

皆さんにもご案内した。今年度予算化されたコンサルへの委託の進ちよは

A 8月の村民説明会の際、検討委員の

きる民間事業者の募集支援などのアドバイザリー事業の委託をした。

A 来年度の公園整備に向けて、連携で

本村の海浜運動公園は、PFIなどの手法はなじまず、指定管理者制度しかないように感じる。

A 本村の海浜運動公園は、PFI

その場合、施設整備に村の予算が相当必要となる。整備内容の決定や、財源確保についての見通しはいかに。

A 今年について

は内閣府の交付金により2分の1の財源を確保している。今後の施設整備についても、国の交付金を求めている。

村は現段階でパブリックコメ

ントにより、村民の声を聴くとしているが、整備の規模・内容、財源も示さずに、村民の声を聴いたでは不十分ではないか。

Q ティップロモーションの中心的なテーマは何か。

現時点で、ティップロモーションの中心的なテーマは何か。

Q 職員もSNSの研修をする。マネージャーと一緒に地域に

役場職員にも、村民とのコーディネート的な役割が求められると思うが、そのための研修は。

A 職員もSNSの研修をする。マネージャーと一緒に地域に

このシティプロモーションが、村民にとってどのような意義があるのか、どう情報提供していくか。

A SNSを活用し、第三者的視点で村外へ発信していくために、他県で実績ある支援マネージャーを迎える。日吉津のファンづくりをすすめ、移住定住にもつなげたい。

出ていくなかで、理解を深めたい。

Q シビックプライド(村民の誇り)を高めて、日吉津の良いところを感じていただきたい。そしてSNSによる発信や、ふるさと納税の返礼品づくりなど、様々な活動に参画をいただきたい。

このシティプロモーションが、村民にとってどのような意義があるのか、どう情報提供していくか。

A SNSを活用し、第三者的視点で村外へ発信していくために、他県で実績ある支援マネージャーを迎える。日吉津のファンづくりをすすめ、移住定住にもつなげたい。

役場職員にも、村民とのコーディネート的な役割が求められると思うが、そのための研修は。

職員もSNSの研修をする。マネージャーと一緒に地域に

このシティプロモーションが、村民にとってどのような意義があるのか、どう情報提供していくか。

このシティプロモーションが、村民にとってどのような意義があるのか、どう情報提供していくか。



▲公園の屋外遊具(北海道恵庭市)



▲村民のためのシティプロモーションは



江田加代 議員

人材育成交流事業の見直しを

教育長 今後とも中学生の事業を続けたい



▲交流を深める子どもたち

Q 人材育成交流事業の見直しを求め、三点を提案する。

- ① オーストラリア研修は取りやめて、5年生全員を沖縄研修に派遣しては。
- ② 給食は食育の一環、学校給食費の無償化の予算に組み替えを。
- ③ 不登校の児童・生徒をサポートするため、フリースクールへの公的支援を。

A 教育長 ①小学校では6年生になってから歴史を学ぶ。5年生では戦争や沖縄の状況について理解することは難しい。

今後とも、中学生の事業を継続したい。予算規模が大きいので効果的な予算の執行に努める。

A 村長 ②学校給食費については財源が大き

な課題であり、県には「一緒にやっていただけると伝えている。独自にできることはやっていきたい。」

A 教育長 ③個に応じた最適な学びを提供できるように、県の補助制度を活用しながら検討する。

高額なコロナ治療薬の補助制度を

村長 現時点では村独自の制度は設けない

Q コロナ治療の公費助成が終了し、解熱鎮痛剤だけを求める患者もある。重症化防止のための村補助制度を求めます。

A 村長

医療費の助成は高額療養費制度の利用が可能であり、現時点では村独自の補助制度は設けない。

自衛官募集の名簿提供は止めよ

村長 除外申請の受け付けも検討したい

Q 自衛官募集のため、住民の個人情報を書き記した名簿を提供する市町村が増えている。村の実態は。

A 村長

法律の定めにより、十八歳の方の氏名・住所・生年月日・性別を紙の名簿で提供している。

Q 全国的には、自衛隊への情報提供を希望しない場合、「除外申請」を受け付けたり、名簿提供から名簿の閲覧に戻しているところもあるが。

A 村長

除外申請を受け付けている団体があることは認識しているが、他のやり方や除外の受け付けも検討したい。

▲他市での自衛官募集除外申請書

協力で、 をきれいに



保全会の皆さん



きれいな農地を残したい

◆出席者

日吉津村

地域資源保全会

上場重俊さん(富吉)

中口克敏さん(富吉)

山西昇さん(富吉)

関裕介さん(下口)

Q. 日吉津村地域資源保全会結成の経過をご紹介します。

上場さん 平成27年4月に施行された法律に基づき、農道や水路を維持管理するために、富吉の有志により結成しました。
農道や水路は、村の大切な宝(地域資源)



上場 重俊さん

ですが、皆の協力が無ければ維持できません。この会ができた頃、皆、自分のことが忙しくて、水田は草ぼうぼうになつて、皆が困っていたんです。今も困ったことは多いですが、あの頃より村の風景はきれいになっています。

この会に参加しています。経験は浅いですが、みんなのできるということが良いことだと感じています。



山西 昇さん

山西さん 昨年「農事組合法人ひえづ」(稲や大豆を共同で生産している)の代表になって、それから本格的に

農家の高齢化などにより、各地区の実行組合が機能しなくなってきたが、5年後、10年後も、続けられると一番良い。個人として農業はもうからない。新しい仕組みができればと感じます。

中口さん 荒れ地をなくしようと、農業を始めて6、7年。5haから受けたが、今は4haです。

夏の猛暑で草刈りが大変。朝6時から9時半まで、夕方は約1時間作業でなかなか進まない。水田が35枚あって、一巡したらまた草が伸びている状態です。

Q. 農業の現状や、今後のあり方については、どのように?

上場さん 日吉津の農地は狭くて、農道も水路も大変古くなって

います。農業はもうからない。食糧を高くすると国民は困る。安すぎるると生産者は経営できない。そうしたなか、国の制度は手厚くなつていて、村の将来ビジョンも作成されている。行政と議会は勉強して改良に取り組んでほしいです。

関さん たくさん個所の耕作を請け負っている「榎徳原ファーム」も、水田の畦畔を取り除いて作業をしているが、栄養のある土は下へ流れて稲のときに差が出てくる。日吉津は高低差がないので、排水が抜けにくいという課題もあります。



関 裕介さん

村民インタビュー

なかまの 地元の農地

日吉津村地域資源



▲こどもたちの未来にも、

農業は、もう個人で
する時代ではない、法
人で若い人を雇ってや
らないと成り立たない。
村内を、商業地や住
宅地と区分けをして、
農地の基盤整備をしつ
かりして、儲かる農業

の基盤づくりを行政で
も進めてほしい。
保全会にも、若い人
が入ってくるといい。
重機やチェーンソーが
使えるとか、草刈り機
械の整備ができる人が
入ってくると助かり

ます。
山西さん 構成員が
年々歳を取って、機械
が壊れたらやめるとい
う人もいる。農業をい
つやめるか爆弾を抱え
ている状況だ。

上場さん イネやト
マトなどの表情を見て
いると、毎日違います。
思うようにならないが、
ちよっと手をかけると
よいものになります。
中口さん 仲間と一
緒にできること、やは
り収穫の時間が楽しみで
す。

日吉津村地域資源保全会

農地・水路・農道などの多面的な機能を維
持し、自然環境の保全や良好な景観をまもるた
め、地域が共同で活動しよう、農家有志によ
り平成27年に結成された。現在、村内の水田の
約8割が対象で、農地を持つ人189人、自治
会などの団体・法人30を含めて2009人が会
員となっている。

山西さん

村外の方が、農地を借
りて家庭菜園を楽しむ
人も多く見かける、そ
ういった農地の維持・
活用もあると期待して
いる。

関さん

情報交換したりして、
どうしたらいいか相談
ができて、おもしろい



中口 克敏さん

皆さんから貴重なご
意見をいただきました。
農地・農道や水路は、
村の景観保全や自然災
害の被害防止にもつな
がる共通の資産です。
ご協力ありがとうございました。

らしい。今後は、親子
や家族で農業体験をす
る機会、場所を増やし
ていったらいいと思う。

です。
Q. 最後に、議会ひえ
づは読まれていますか
上場さん 隅々まで
読んでいます。自分の
思いだけで質問されて
いる方がありますが、
議員がどれくらい住民
と話をしているか、住
民から学ぶ姿勢が大事
だと思えます。

議会のうごき

和歌山県御坊市議会 来村（行政視察）

とき 8月8日（木）
ところ 役場会議室など

視察目的

・子育て施策について
御坊市議員5名と事務局員の視察を受け入れました。
ミライトひえづ整備に至った経緯や建設費、財源、人口の増加など多くの質問を受けました。

ミライトひえづの歴史資料館や園内を見学され、きれいで広いことに感動されていました。



西部町村議会研修会

とき 8月19日（月）
ところ 伯耆町 鬼の館

講師

西部広域行政管理組合消防局

藤友真人氏

演題

令和6年能登半島地震における西部消防局の活動について

能登半島地震の災害現場の救出活動について、実際の写真を見ながらお話を伺いました。災害の恐ろしさと救出活動の重要性を理解することができました。災害時には、水、トイレなど大きな問題になることを改めて感じました。



北海道下川町議会 来村（行政視察）

とき 10月2日（水）
ところ ヴィレステヒえづなど

視察目的

・人口増への取り組み
・子育て施策について
下川町議員6名、副町長、事務局員の視察を受け入れました。

人口定着の施策や母子保健コーディネーターの予算・人数などの質問を受けました。

ミライトひえづの歴史資料館や園内を見学され、資料館資料の保存状態に関心が寄せられました。



編集後記

季節がかわり始めましたこのごろ、村民の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

9月29日に村防災訓練、10月6日には村民運動会、10月20日～21日は、ねんりんピックでターゲット・バードゴルフ交流大会が行われました。

ねんりんピックでは、全国からの選手をおもてなしの心でお迎えしました。

議会も引き続き頑張っています。

—松田 記—

次回の定例会は
12月です



表紙 村民運動会

「議会広報広聴常任委員会」

前田 昇・長谷川康弘
齊田 光門・石原 浩明
松田 悦郎